

「子どもの権利に関するアンケート調査」結果

—ダイジェスト版—

士別市は、子どもたちが生き生きと育つことができる、子どもにやさしいまちをめざして、子どもの権利についての約束「子どもの権利に関する条例」をつくりました。

この「子どもの権利に関するアンケート調査」は、子どもの権利についての意識や実態を把握するとともに、第 2 次「士別市子どもの権利に関する行動計画」策定の参考資料とするために実施しました。

アンケートの結果を見て、「子どもの権利」が守られるために、どうしたら良いのかを考えてみましょう。小学生の保護者のみなさまは、お子さまと一緒に考えてみましょう。

調査の概要

調査期間 平成29年7月3日～7月14日

調査対象 小学5年生、中学2年生、高校2年生の児童生徒、及びその保護者

□児童・生徒 413人

□保護者 413人

調査内容 自分のことが好きか、居場所、意見表明、悩み、相談、子どもの権利など

回収率 □児童・生徒 386人(93.4%)

□保護者 302人(73.1%)

（「子どもの権利に関する条例」前文より抜粋）

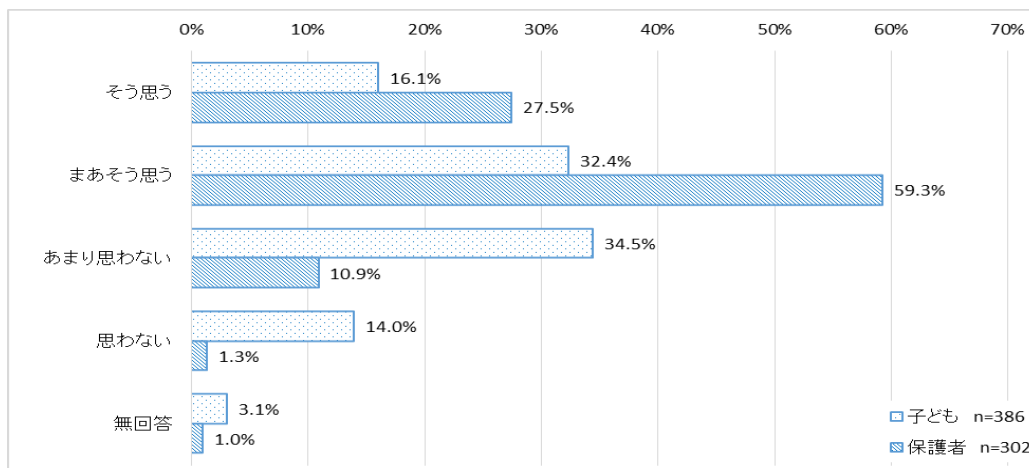
- ・子どもは、愛情をもって育てられることを願っています。
- ・子どもは、人と比べられるのではなく、一人ひとりの個性が大切にされ、自分らしく生きることを願っています。
- ・子どもは、いじめや虐待がないことを願っています。
- ・子どもは、犯罪や事故のない安全な暮らしを願っています。
- ・子どもは、子どもだからといって、発言をさえぎられないで、自分の意見を聴いてほしいと願っています。
- ・子どもは、自由に参加し、意見を発表できる場所があることを願っています。
- ・子どもは、友だちや仲間と一緒にさまざまなことにチャレンジすることができます。

※市内の小・中・高校生20名が集まり、子どもの権利についての学習や話し合いの結果「子どもの願い」としてまとめています。

1. 子ども自身の思いと、保護者が考える子どもの思いについて

(1) 自己肯定感(自分のことが好きだと思うか)

自分のことが「好きだと思う」「まあ好きだと思う」という児童・生徒は48.5%でした。これは、保護者が考える子どもの自己肯定感(児童・生徒が自分自身のことを「好き」「まあ好き」と回答する保護者86.8%)に比べると低く、かなり差があると言えます。



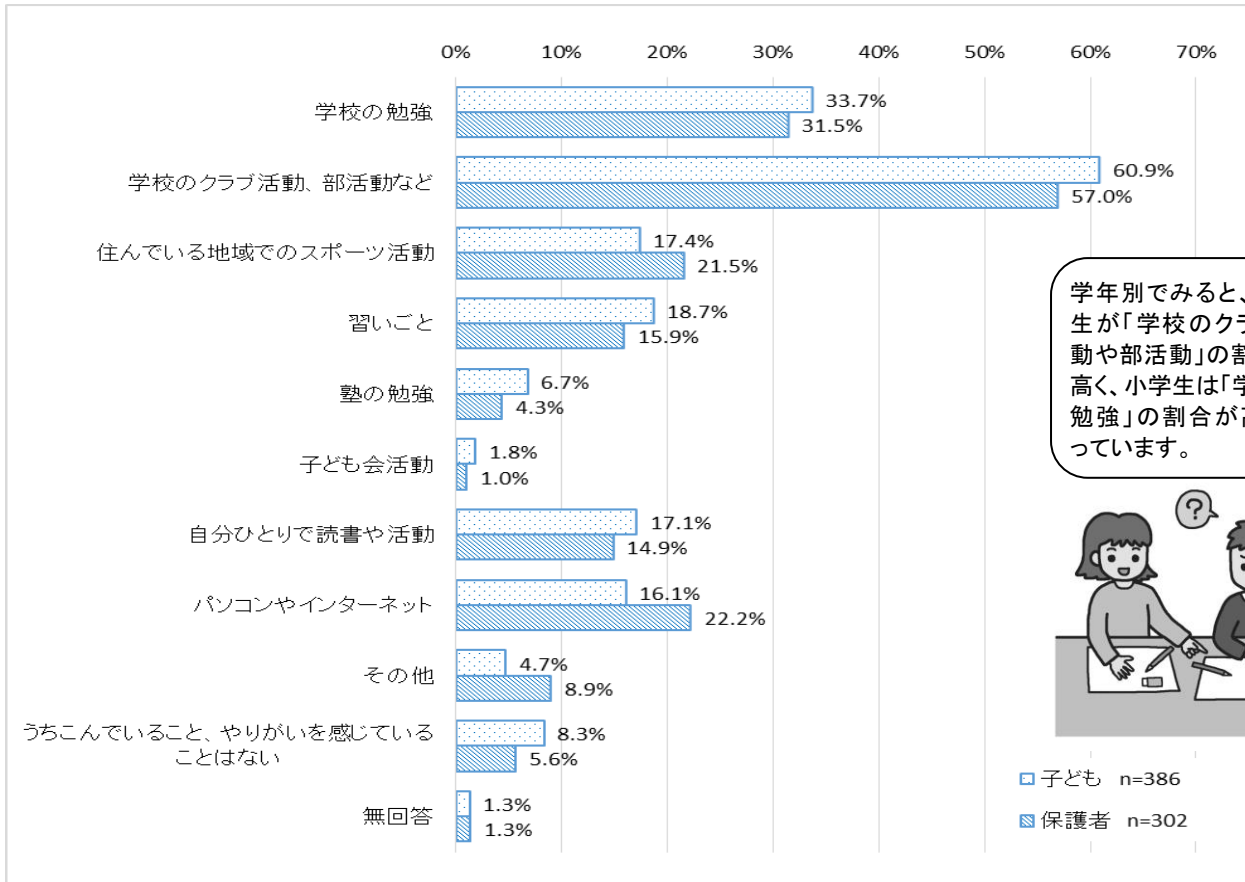
前回のアンケート(平成25年11月実施)結果と比べると、自分のことが「好きだと思う」「まあ好きだと思う」児童・生徒の割合が8.7%上がっています。



2. 学校生活などに関すること

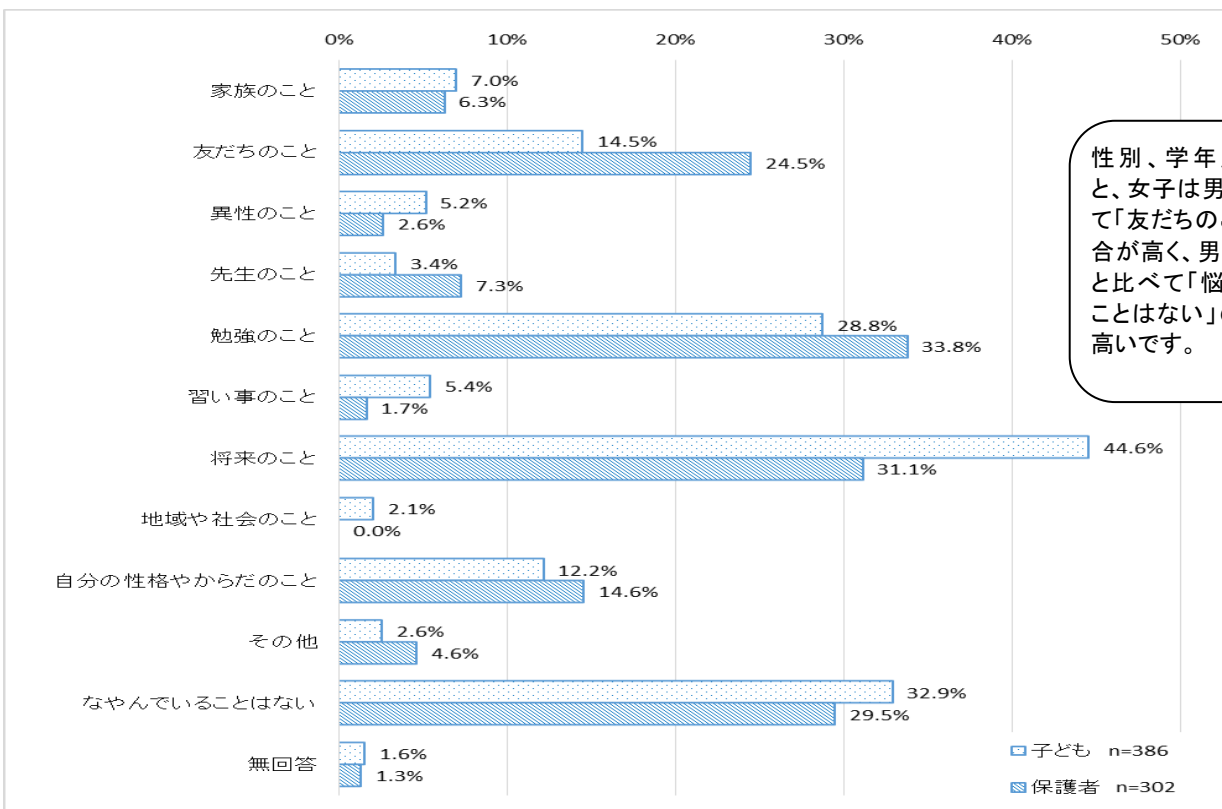
(1) うちこんでいること、やりがいを感じていること

児童・生徒と保護者とも「学校のクラブ活動や部活動」「学校の勉強」の割合が高く、次に高い「パソコンやインターネット」では、児童・生徒より保護者の割合がやや高くなっています。



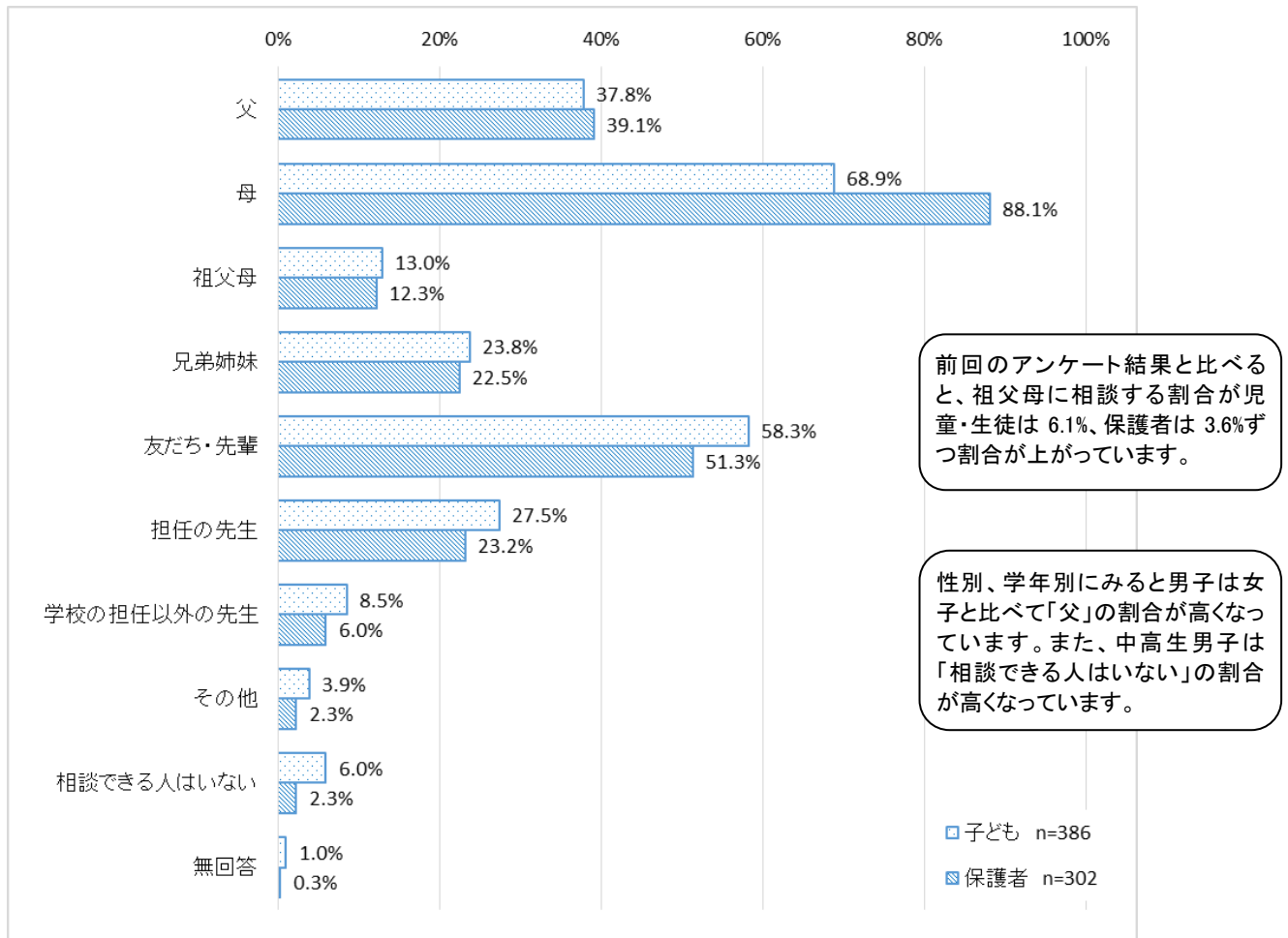
(2) 困ったり、悩んだりしていること

児童・生徒は「将来のこと」が高く、次いで「悩んでいることはない」「勉強のこと」の割合が高く、保護者は同じく「勉強のこと」「将来のこと」「悩んでいることはない」の割合が高くなっています。



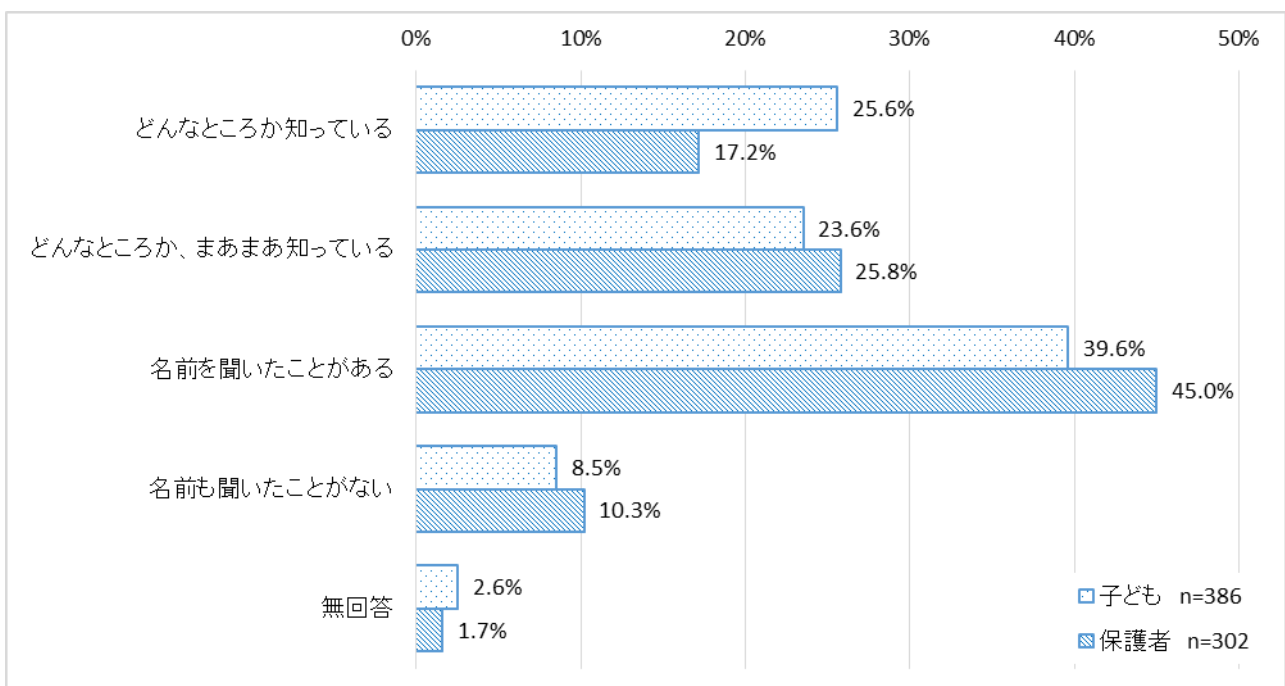
3. 子どもの相談相手について

困ったり、悩んだりしたとき、相談できる人については、児童・生徒は「母」「友だち・先輩」「父」の順になっており、保護者も同じ順位となっています。



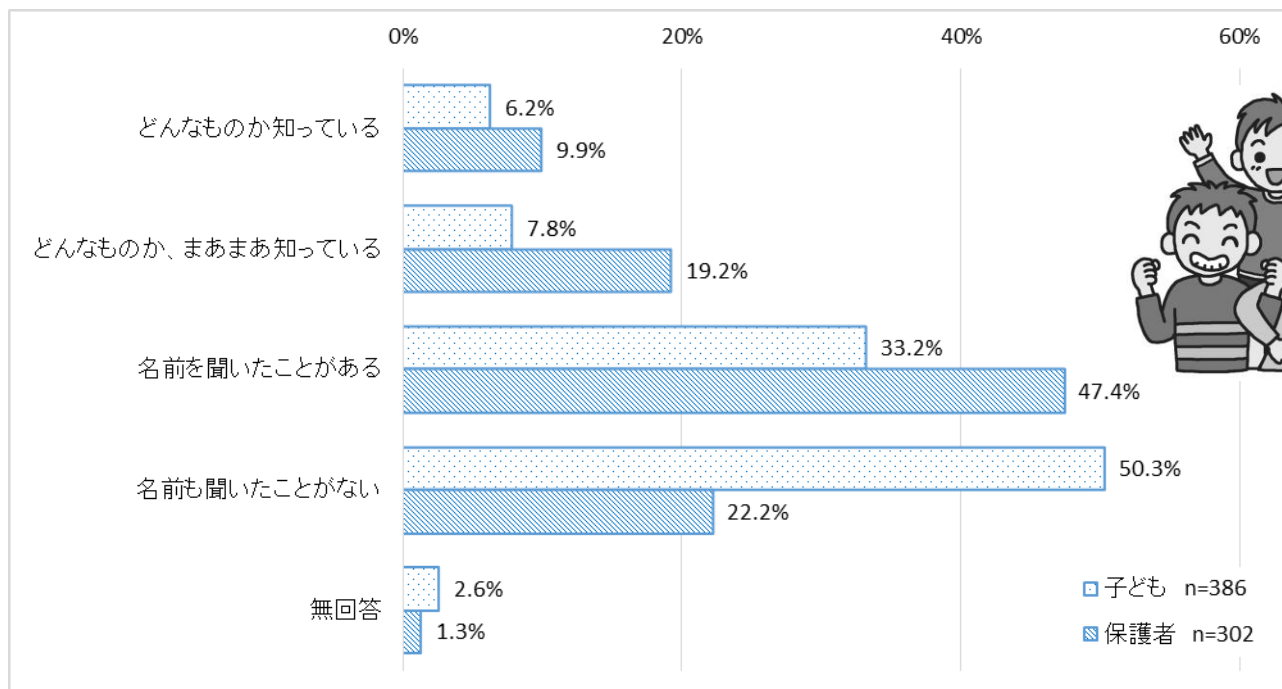
4. 相談する機関について

相談機関である「青少年相談室」「家庭相談室」のことを知っているかどうかについて、児童・生徒の割合は「知っている」「まあまあ知っている」「名前を聞いたことがある」を合わせると 88.8%、保護者は 88% となっています。



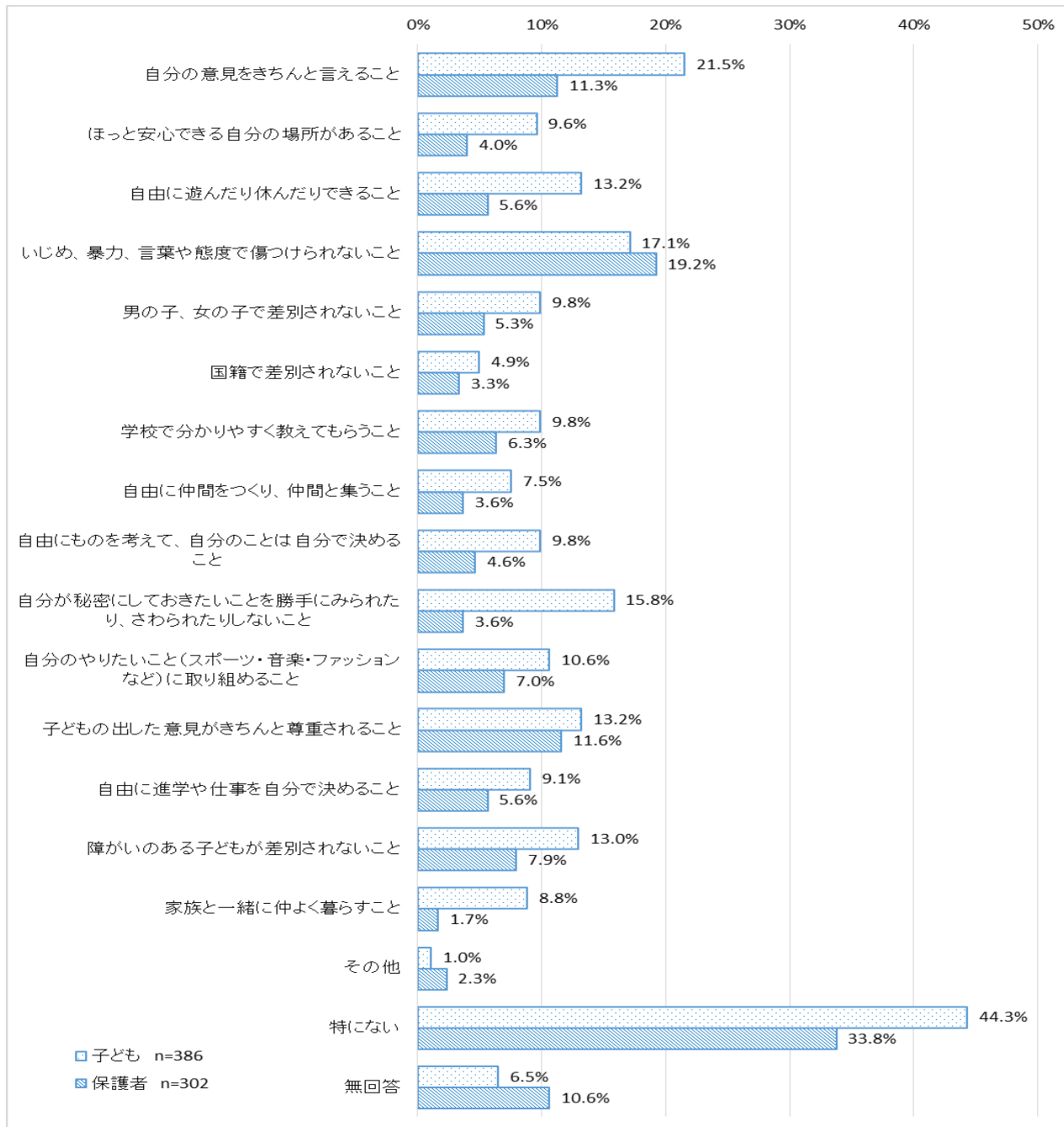
5. 士別市子どもの権利に関する条例について

児童・生徒は、「知っている」「まあまあ知っている」「名前を聞いたことがある」を合わせると、47.2%、保護者は76.5%となっており、保護者の知っている割合が高くなっていますが、半数以上の児童・生徒が「名前も聞いたことがない」となっていることから、周知を強化していく必要があります。



6. 普段の生活で守られていないこと

ほとんどの各項目が児童・生徒のほうが保護者より割合が高くなっており、特に、児童・生徒は「特にない」が最も高く、次いで「自分の意見をきちんと言えること」「いじめ、暴力、言葉や態度で傷つけられないこと」「秘密にしておきたいことを勝手に見られたり、さわられたりしないこと」の順位となっています。



前回のアンケート結果よりも、ほとんどの項目において割合が低い結果となりましたが、「自分の意見をきちんと言える」権利が守られていないと感じている子どもたちが、21.5%となっています。

今後の課題として、子どもの自主性を育てるためにも「子どもの意見表明や参加」のための取り組みを広めていく必要があります。

また、いじめや暴力の現状を把握して、家庭や学校、地域のそれぞれの支援体制をさらに強めていく必要があります。

編集・発行 士別市保健福祉部こども・子育て応援室
士別市東6条4丁目1番地
TEL(0165)23-3121(内線2138)